

食文化の違いと良い暮らしのために何をしているか

香川県立高松工芸高校

工芸科3年 吉村綺乃

私はタスマニア派遣事業を経て2つのことについて調べました。

1つ目は食文化についてです。まず日本と大きく異なる点はベジタリアンやヴィーガンの人口です。日本ではあまり見ることがありませんが、タスマニアでは10人に1人がベジタリアンかヴィーガンだと言われています。では何故日本よりもそういった人が多いのでしょうか。その理由として飲食店のメニューが挙げられます。タスマニアにある飲食店のほとんどは、ベジタリアン向けのメニューが用意されています。そのため菜食主義の方が家庭内だけでなく外出先でも食事を楽しむことができます。日本に住むベジタリアンの方は、飲食店を訪れた際にベジタリアン向けのメニューが無かったり、ベジタリアン向けに肉を他の物で代用して欲しいと注文することもあるそうですがお店によっては断られるケースもあります。私はベジタリアンではありませんが肉が昔から苦手なのでタスマニアではベジタリアン向けのメニューをよく注文していました。私のように肉が苦手な人やベジタリアンの人が外でもお店を利用して食事を楽しみ、ベジタリアンの方が過ごしやすいうように、日本でもベジタリアン向けのメニューが用意されて欲しいです。

2つ目はタスマニアの人々が良い暮らしのために何をしているかについてです。

ズバリ、家族と過ごす事です。私のホストファミリーは、夕食中にスマートフォンを絶対に見ません。折角家族全員が揃っているのに、スマートフォンを使用すると全員で一緒に時間を過ごせないからです。夕食後は全員で映画を鑑賞したりトランプをしたりします。寝る前にはおやすみのキスとハグをして愛情表現をすることを欠かしません。そうすることで忙しい日々の中でも家族との絆を深めたり家庭内での楽しみを持つことができます。さらに休日は家族でお出かけをすることも多いようでした。日本ではそもそも家族とあまり話さない人や家庭内での楽しみがない人が多いように感じます。故に家に帰るのが億劫になったり、重要な相談事を家族に話すことができず抱え込んだままになってしまいます。実際、私の友人にもこういった人が多いです。このことに気付いて、良い暮らしを送る為には家族との関わり方も大切なのだと知りました。ホストマザーやホバートカレッジの先生に「良い暮らしのためにしていることはありますか？」と質問した際「家族と過ごすことを大事にしているよ」と答えていました。

最後に、今回タスマニア派遣事業に参加させていただく事ができて誠に光栄です。ここで経験したことは再び経験することのできない貴重なものです。本当にありがとうございました。



▲7月31日留学生クラスにて茶道を披露している様子